社会・スポーツ・生活　TOYAMA YOMIURI 富[illegible]

巨人斎藤完封で14勝
25面

ビジネスホテル いや ラブホテル
揺れる富山市黒崎地区

「構造はラブホテル」反対派住民
「旅館業法での営業」ホテル管理会社

焦点

富山市黒崎地区がラブホテルをめぐる問題で揺れている。今年、同地区内にビジネスホテルとしてオープンしたホテルが、その外観や営業状況などから、住民から「ラブホテルではないか」と疑問の声が上がっているからだ。同地区にはあと二軒のビジネスホテル建設計画が浮かんでいる。そのうち一軒に関する町内全体会が六日に開かれたが、住民の間からは反対の声が相次いだ。「ビジネスホテルを建てると言いながら[illegible]したのに、だまし討ちだ」という不満、不信感。反対派の町内会は看板やビラを配布し抗議を強めている。（[illegible]）

「風営法規制届かず」の声

問題となっているのは同地区の北陸自動車道富山インター入り口付近でのホテル建設。三軒の計画のうち、富山市内の[illegible]が所有する一軒は今年三月に営業を始めた。

このホテルは建築基準法や旅館業法の基準をクリア。法律上はラブホテルではなく、旅館業法上ホテルとして営業している。しかし、駐車場には車を隠すカーテンがある。カギを受け取るフロントはあるが、チェックイン手続きはない。カウンター上に水槽があり、カギを受け取った際に料金を支払ったかどうか、従業員の顔は見えにくい。部屋はダブルベッドで、料金をデジタル表示。エアシューターも付いている。反対派住民は「ラブホテルそのもの」と声を荒らげる。

ホテル建設が持ち上がったのは昨年。反対派住民によると、住民説明会で業者は、「富山インター付近にはビジネスホテルがなく、また二〇〇〇年国体に向けた市内の宿泊施設の不足解消のためにも、ぜひとも建設を」と説明したという。

しかし、住民が事前に入手した設計図を専門家に見せたところ、「駐車場のカーテンなど、構造はラブホテルそのもの」と言われた。事前の約束に反して、三つのゲートからしか出入りできない塀も作られた。

ラブホテル・モーテルは、風営法で「専ら異性を同伴する客の宿泊の用に供する施設」とされ、ビジネスホテル、旅館などの宿泊施設と区別される。法律上は、一九八五年の風営法改正で全国的に新規建設は困難となっている。具体的には、駐車場から直接部屋に入れる構造などの施設要件は、ほとんどの地域で禁止された。一方、旅館業法で定められているビジネスホテルなどを建てる場合は、従業員と客が対面できるフロント、部屋数に応じた広さのレストラン・ロビーの設置が義務付けられる。

しかし、逆に、これら一般のホテル施設の基準をクリアすれば、ラブホテルとして運用することは事実上可能といわれる。

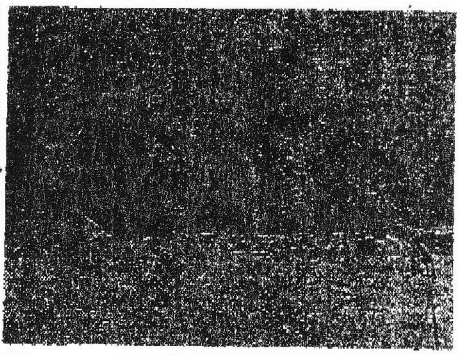
経営者にフロントを顔を合わせずに手続きの取りする小窓を作ったり、レストランを閉鎖して、倉庫や従業員用のスペースとする、エアシューターを使った自動精算システムを採用するなど、ビジネスホテルがラブホテル化する例は全国的に見られる。

県内で、既得権として八五年以前から営業を続けるラブホテル・モーテルは六十二軒。八五年の新風営法の施行後はそれらの新増築の許可申請はない。しかし、全国ラブホテル密室化反対同盟協議会北陸本部（越石[illegible]会長）の調べでは、同年以降、ビジネスホテル名目で建設、後に事実上ラブホテルとして利用されているのは、県内に五軒あるという。

同協議会では黒崎地区の反対運動に連動して、このほど、県に陳情書を提出。将来の撤去など十二項目の公正証書を住民と業者に結ばせるよう要望した。越石会長は、「問題の根源は旅館業法でビジネスホテルと申請しさえすれば、後は〝ラブホテル〟形態で営業できる実態。[illegible]風営法の抜け穴。自治体の条例で網をかけるべきだ」と主張する。

これに対し、黒崎地区で営業中のホテルの管理会社は、「あくまでビジネスホテル。建築基準法や旅館業法にのっとり、適法に営業しており、抗議は理解できない」と反論。許可を担当する富山市保健所も、「基準を満たしている」と、問題視する構えはない。

衆院 知事 ダブ[illegible]

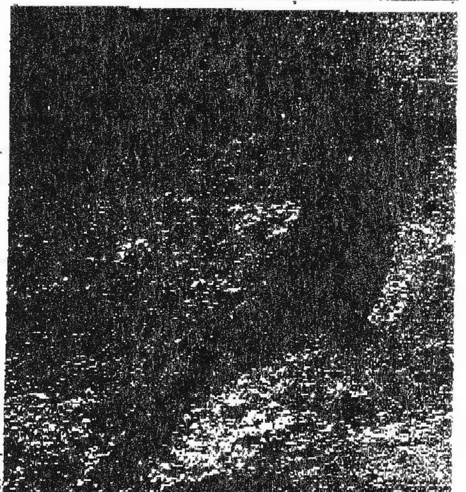


記者会見で知事選出馬を表明する東野和之氏（中央）＝共産党県委員会事務所で

カウンセラーを全中学校に配置する▽[illegible]に反対する――など六項目の公約を発表した。

東野氏は立山町出身で、東北大農学部卒業後、富山県生協に勤め、その後民主青年同盟中央委員・県委員長などを経て現職。県原水協理事も務めている。九二年と昨年の参院選富山選挙区に立候補して、落選している。

同委員会では、知事選と衆院選の総合選対（責任者・反保直樹委員長）を設置。知事選については、選対[illegible]

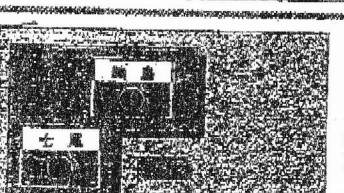


3位入賞にも笑顔なし
「もう一つ上狙っていた」

[illegible]に出場した[illegible]の山野井選手（[illegible]）に徐々に引き離された。結局は山野井選手に2秒52、二位の吉田[illegible]選手（神奈川）に1秒43の遅れ。横本[illegible]コーチは順位は評価しながらも、「勝負へのこだわりが少ない」と実力十分の選手だけに物足りなそう。

4分20秒を切るのが目標。「山野井選手のような自分より上の選手がいる試合は刺激になる。一つ一つの試合を大切にしたい」。次の目標は、来年の全日本選手権での上位入賞だ。

今日の天気



概況　本州の南海上に停滞する秋雨前線上の低気圧は遠ざかり、前線も活動を弱めながら南下する。大陸育ちのさわやかな空気を伴った高気圧が、中心を本州中部や朝鮮半島付近に移してくる。北陸地方は澄みきった青空が広がる。
（日本気象協会北陸センター）